

仕 様 書

ガス供給事業者（以下「乙」という。）は、ガス事業法及びその他関係法令等を遵守するとともに、本仕様書に基づきガスの供給を安定的に行い、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター（以下「甲」という。）はその供給を受けることとする。

1 概要

(1) 需要場所

名 称 岐阜県総合医療センター
所在地 岐阜県岐阜市野一色4-6-1

(2) 業種及び用途

病院

2 需給期間

2022年9月定例検針日の翌日から2023年9月の定例検針日まで

3 予定使用量等

取引メーター、予定期間使用量及び契約月別予定使用量並びに予定最大使用量は別表1及び2のとおりとする。

4 調達案件の仕様等

(1) ガス種別

都市ガス13A

(2) 供給熱量

45MJ/m³

(3) 供給圧力

低圧、中圧B

(4) 需要場所での用途

低圧：GHP、ガス給湯器等 中圧B：ボイラー、コージェネレーションシステム等

5 保安

(1) 乙の保安責任

ア 乙は消費機器（ガス機器）の調査・危険発生防止の周知を行い、敷地内のガス管（内管）に直接接続するガス導管（供給管）を維持・運用する一般ガス導管事業者と連携し保安を行うものとする。

イ 乙は、現地における業務を第三者に委託できることとする。

ウ 乙又は乙の委託者は、業務の実施にあたり、甲の了解を得た上で甲の敷地内に立ち入ることができることとする。

(2) 緊急時（災害時を含む）の保安体制

ア 甲の施設が24時間稼働する施設であることを考慮し、乙又は乙の委託者は保安確保のための出動拠点を整備するとともに、各拠点到緊急要員を配置して、緊急時等に速やかに対応できるよう備えることとする。

イ 緊急時において、乙は最寄りの拠点から速やかに出動し、保安確保のための応急措置を行うこととする。

(3) ガス供給中止等の条件

ア ガス供給設備に故障が生じ、又は生じるおそれがある場合など、保安上やむを得ない場合において、一般銅管ガス事業者、乙又は乙の委託者は甲の承認を得た上で、ガスの供給を中止又はガスの使用制限を行うことができることとする。

イ 一般銅管ガス事業者、乙又は乙の委託者は、ガスの供給を中止又は使用制限を行った場合、甲に対して当該事態が解消した後、速やかに報告することとする。

(4) 保安体制表の提出

乙は、6 (2) に示す保安体制をガス供給開始日までに甲に提出することとする。

6 その他特記事項

(1) ガス料金の計算方法

ア ガス料金の算定は、1月(前月の検針日の翌日から当月の検針日までの期間をいう。)の使用量により行うものとする。

イ 毎月のガス料金 = (従量料金単価 + 原料費調整額) × 使用量
(消費税及び地方消費税相当分を含む。)

ウ 原料費調整制度の適用は、岐阜市を供給区域とする旧一般ガス事業者の原料費調整制度に基づき算定するものとする。

エ ガス使用量の単位は、立方メートルとし、その端数は小数点第1位以下の端数を切り捨てる。

オ ガス料金その他の計算における合計金額の単位は、1円とし、その端数は切り捨てる。

(2) 時間当たりの最大使用量の算出が必要な場合は、負荷計測器の設置、又は、計量器の最大ガス通過流量の合計値を最大使用量とするなど、甲乙協議のうえ、決定する。

(3) 契約を実行するため、負荷計測器設置等の改造費用が発生する場合は、受注者負担とする。

(4) 毎月の請求書等は管財課管財担当へ送付すること。

(5) 契約最大使用量超過等の精算金については、受注者の約款に基づき協議し定めるものとする。

(6) 本仕様書及び契約書に定めのない事項については、ガス事業法その他関係法令等に基づき、甲乙協議の上、決定することとする。

別表 1

計量器

メーター型号	設置場所	ガス メーター	ガス通過 流量 (m ³ /h)	負荷計測器
PB50	本館西側屋外	中圧 B	500	有
PB50	本館西側屋外	中圧 B	500	有
ND100	本館西側屋外	低圧	100	有
ND40	すこやか棟屋上	低圧	40	有
ND40	すこやか棟屋上	低圧	40	有

別表 2

検針年月	契約月別予定使用量 (m ³)
2022 年 10 月	182,000
2022 年 11 月	137,000
2022 年 12 月	184,000
2023 年 1 月	252,000
2023 年 2 月	234,000
2023 年 3 月	192,000
2023 年 4 月	137,000
2023 年 5 月	143,000
2023 年 6 月	214,000
2023 年 7 月	304,000
2023 年 8 月	375,000
2023 年 9 月	279,000
契約年間予定使用量	2,633,000

* 上表の数値は過去の実績から算定した予定数値であり、実際の使用量は上下します。

予定最大使用量 (m ³ /h)	863
予定期間使用量 (m ³)	2,633,000